

### 緑の募金事業について

当会は緑の役割、緑の大切さなどを啓発するため、緑化推進事業の一つとして「緑の募金」活動に取り組んでいます。

今年度は5月1日(水)～6月7日(金)の38日間で募金活動を行った結果、合計34の幼稚園、小・中学校、高等学校にご協力いただき、373,710円の募金が集まりました。

(内訳：小学校16校、中学校1校、高等学校1校、私立校2校、幼稚園7園)

※募金実績はフラワーフェスティバル in 西宮街頭募金 1,168円、職場募金 240円を除いた金額

集まった募金は、全額を公益社団法人兵庫県緑化推進協会に納め、協会を通じて森と緑のふれあいを進めるための森林保全活動支援事業、森林学習体験活動支援事業などの事業費に充てられます。本会へは緑化活動助成金として約半額分が交付され、この助成金で緑の還元事業を行い、10月下旬に募金協力校へ球根および花苗を配布する予定です。



### 西宮を花と緑にする会の緑化事業について

「西宮を花と緑にする会」は、次のような緑化事業に取り組んでいます。

- ①市内郵便局など51箇所のフラワーポット79基に、四季の草花を植栽して街かどを飾り、道行く方々に楽しんでいただいています。
- ②「緑の募金」(みどりの羽根)運動を実施し、その還元事業において募金いただいた団体を対象に球根や花苗の配布を行っています。
- ③機関紙「みどりニュース」を発行し、当会が実施する緑化事業などの情報を会員の皆さんにお届けしています。
- ④「フラワーフェスティバル in 西宮」を開催しています。
- ⑤緑化知識の習得や会員相互の交流を目的として、「研修会」や「園芸教室」などを実施しています。

### ●会員を募集しています

「西宮を花と緑にする会」は、市民があいたずさえて“みどりと青空の明るいまちづくり”を進めるため、昭和46年に誕生しました。

“みどり豊かなまちづくりの輪”に参加しませんか。

会費/年額 1口1,000円

個人：1口以上 法人・団体：3口以上

<西宮を花と緑にする会 事務局>

〒662-8567 西宮市六湛寺町10-3 西宮市役所花と緑の課内

TEL (0798) 35-3784

FAX (0798) 36-1984

会のホームページ

http://nishi-hana.org/ 「西宮を花と緑にする会」で検索



理事会の様子

### 令和元年度 西宮を花と緑にする会 役員

役員	氏名	所属団体
会長	梶本 和生	西宮青年会議所
副会長	野島 比佐夫	西宮商工会議所
副会長	中村 亮夫	西宮市環境衛生協議会
副会長	荒巻 勲	一般社団法人西宮市老人クラブ連合会
会計理事	田中 好子	西宮市地域婦人団体協議会
理事	谷口 哲司	西宮市商店市場連盟
理事	金田 昌子	西宮酒造家十日会
理事	大河原 量	西宮市私学連合会
理事	梶 泰享	西宮市社会福祉協議会
理事	米谷 侑子	西宮商工会議所女性会
専務理事	植松 浩嗣	西宮市土木局長
常務理事	伊藤 泰介	西宮市公園緑化部長
監事	黒野 実	ボーイスカウト西宮連合会
監事	石田 資二	摂陽西地区郵便局長会

# みどりニュース

- P1 研修会のお知らせ・六湛寺公園花壇の紹介
- P2 フラワーフェスティバル in 西宮開催結果 園芸教室のお知らせ
- P3 会員の作品紹介  
フラワーサポーターの紹介
- P4 緑の募金報告・役員紹介  
会の事業紹介・会員募集

## 西宮を花と緑にする会 研修会のご案内

当会では、緑化知識の習得と会員相互の交流を目的とした“研修会”を開催しています。

今年は、世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の一角、大仙公園、堺・緑のミュージアム ハーベストの丘 大阪府立花の文化園を巡る予定です。



### 大仙公園

今年、世界文化遺産となった百舌鳥古墳群の一角、世界最大の墳墓仁徳天皇陵古墳と履中天皇陵古墳周辺に位置する大仙公園。公園は、博物館、茶室、都市緑化植物園、大芝生広場、日本庭園(築山林泉回遊式庭園)などの施設があり、堺市のシンボルパークとなっています。

西宮市役所 → 堺市役所 2 1階展望ロビー (8:45発) (見学)

→ 大仙公園 → ハーベストの丘 (自由散策) (昼食・散策)

→ 大阪府立花の文化園 → 堺伝統産業会館 (見学)

→ 西宮市役所 (17:00解散予定)

### 大阪府立花の文化園

花に関係する様々な文化も楽しむことが出来る施設です。バラ園やクレマチス園、ポタン園、クリスマスローズガーデン等、季節ごとの花が咲く各種ガーデン、一年を通して充実した大温室があります。

開催日時：令和元年10月23日(水) ※雨天決行

定員：40名(先着順、定員になり次第締切ります) ※詳細および申込方法は別途ご案内いたします

## 西宮市オリジナルフラワー 見本展示花壇を紹介します。

～ 六湛寺公園 ～

西宮市役所前、六湛寺公園の一角に“西宮市オリジナルフラワー園”があるのをご存知でしょうか？

市役所本庁舎から横断歩道を渡って東館へと向かう通路沿い、石のベンチがある辺りで足を止めてみてください。年間を通じて西宮市オリジナルフラワーを植栽している見本展示花壇を設けています。



エンジェルス・イヤリングの各品種が咲いています



左：西宮権現平桜・右：夙川舞桜

春先には夙川舞桜・西宮権現平桜のお花見が楽しめます。その足元では、4～5月頃からフクシア「エンジェルス・イヤリング」が咲き始め、初夏にはペロニカ「ゆめむらさき」の青い穂が風に揺れます。続いて夏にはその名の通りアガスタケ「サマー・アメジスト」、そして秋にはプレクトランサス「プレランサ」が花を咲かせます。

西宮市オリジナルフラワーは基本的に宿根草で、少し工夫すれば何年も楽しむことのできる植物たちです。他市にはない西宮の花を、ご自宅でのガーデニングにもぜひ取り入れてみてください。市では、管理のコツなどをまとめたオリジナルフラワーの育成ガイドブックも配布しています。ご希望の方は花と緑の課まで。

### 令和元年度「フラワーフェスティバル in 西宮」開催結果

市役所前の六湛寺公園において、西宮市と当会の主催による緑化イベント、第 20 回「フラワーフェスティバル in 西宮」を開催しました。

開催期間：令和元年 5 月 24 日（金）～ 26 日（日）  
来場者数：6,000 人  
後援：西宮市都市農業推進協議会  
NPO 法人子ども環境活動支援協会（LEAF）  
西宮商工会議所 女性会  
ご協力いただいたボランティア：計 のべ 137 人



ガーデンコンペ作品（市長賞）

#### <ガーデンコンペ>

- コミュニティ花壇部門：地域での花壇活動の顕彰 31 団体
- テーマガーデン部門：ミニ花壇（2×2m 区画）に各団体のテーマに沿った植栽の演出  
アマチュアの部 6 作品 プロの部 2 作品
- コンテナ・ハンギング部門：プランター・ハンギングバスケットなどの寄せ植え作品の展示  
アマチュアの部 76 作品 プロの部 7 作品



「令和元年度 フラワーフェスティバル in 西宮」開催の様子

#### <各種催し>

- 花の交流サロン：花と緑のまちづくりリーダーが中心となり、来場者がくつろげる場を芝生ゾーンに設置
  - ・種のおすそわけ会：花と緑のまちづくりリーダー等から提供いただいた種をおすそわけ
  - ・健康茶サロン：薬草・ハーブを使った健康茶の試飲及び解説
  - ・草あそびコーナー：植物を使った工作づくり
- 本をもって外に出よう！：図書館ボランティアによる絵本の読み聞かせや折り紙指導など
- 甲子園短期大学 みんなみんな集まれ！：押し花マグネット、子ども遊びコーナー（工作・ゲーム）など
- お花のスノードームづくり、ネイチャーラリー、葉っぱのこすり出し
- 西宮マダムカフェ：小さなパンや紙パック飲料の販売 など

#### <各種園芸教室>

- さし芽教室
- 種まき教室
- ハイドロカルチャー教室
- 苔玉教室

★その他、イベントを多数開催しました

### 園芸教室「冬を飾る寄せ植え作り」を実施します

ピオラやカラーリーフプランツを使って、1鉢飾ると明るく華やかになる冬の寄せ植えを作ります。また、水やりや温度管理など上手に育てるコツも学びます。

教室終了後は会場の北山緑化植物園内の見学も楽しんでいただけます。お友達もお誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。



昨年度の園芸教室の様子

開催日時：令和元年 12 月 12 日（木）13時半～15時  
会場：北山緑化植物園  
定員：25 名（先着順により受付）※詳細は後日ご案内いたします。

### 会員の活動を紹介します

会員の活動を紹介します

今号では「フラワーフェスティバル in 西宮」コンテナ・ハンギング部門に 20 年間連続して出展をいただいております、本会の会員の甲子園一番町自治会の作品（出展者名：甲子園一番町グリーンクラブ）を紹介します。

今年は 7 名の甲子園一番町自治会の方から、14 作品を出展いただきました。

今回の「フラワーフェスティバル in 西宮」では、ほぼ全回を通じ、ガーデンコンペに出展された方々へ「green fingers」賞が設けられ、本会の会員では、昨年みどりニュースでも出展作品をご紹介させていただいた、田代町自治会の菅野千恵子さん、中 敏子さん、山中文子さん、増谷悦子さん、甲子園一番町自治会からは、藤木和子さんが受賞されています。

おめでとうございます。「green fingers」賞の名の由来は、ガーデニングの盛んなイギリスでは、優秀なガーデナーは、「園芸の才能がある」という意味で「green fingers（グリーン・フィンガーズ）」を持つといわれています。栄誉ある優秀なガーデナーの今後の益々のご活躍を本会も応援してまいります。

#### 甲子園一番町グリーンクラブのみなさまの作品



中山明美さんの作品



小林幾子さんの作品



美咲帆さんの作品



野田眞理子さんの作品



池内良子さんの作品

自治会のようにまとまった点数をご出展いただける場合、作品の運搬のお手伝いをいたします。来年度のフラワーフェスティバルで、玄関先を飾るコンテナ・ハンギングに地域のみなさまで取り組んでみてはいかがでしょうか。



銀賞を受賞された藤木和子さんの作品



銀賞を受賞された岸美樹さんの作品

### フラワーサポーターの活動を紹介します

今号では、小松郵便局のフラワーサポーターの梶原さんを紹介いたします。梶原さんは自宅のお庭でもとてもたくさんの植物を育てています。庭木の手入れもすべてご自身でされるほどの園芸のベテランです。ご自慢の家庭菜園では、ミニトマトやキュウリ、ナスなどの野菜が見事に育ち、とても美味しく実をたわわに実らせていました。

小松郵便局のフラワーポットの花の少し元気の無い様子を見て、自ら名乗りをあげ、今年度からお世話をしてくださっています。

植物を育てる方法には、落ち葉を使って腐葉土を作り肥料にする、稲刈り時期に糞をもらってきて短く切って土に混ぜる、定期的に液肥を与える、毛虫などは殺虫剤などの農薬は使わないで手で駆除する等々のこだわりがあります。

また、雨水を貯めて水やりに利用するなど、エコにも努めています。郵便局のフラワーポット管理で一番の苦労は水やりだそうです。フラワーポットの土は乾きやすく、毎日夕方、自宅から水を運んで与えてくださっています。

現在 75 歳の梶原さん、梶原さんにとってガーデニングとは？とお聞きしました。生きがいというのは大袈裟ですが、楽しくやりがいを感じています。郵便局の花の手入れをしていると、皆様から「ご苦労様、ありがとう。」の声もかけてもらえます。植物のお世話をしているうちに『花の笑顔がわかるようになってきました』と、花に負けない満面の笑みで応えてくれました。



フラワーポットのお世話をしている梶原さん